

Chassis Dynamometer
for Light Duty Vehicle

ONOSOKKI

4輪車用 シャシダイナモメータ

拡張性と使いやすさを追求



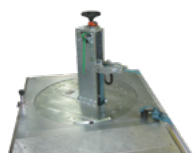
株式会社 小野測器
<https://www.onosokki.co.jp/>

幅広い拡張性を備え 高次元な試験要求に対応可能な 4輪車用シャシダイナモメータ

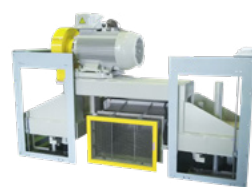
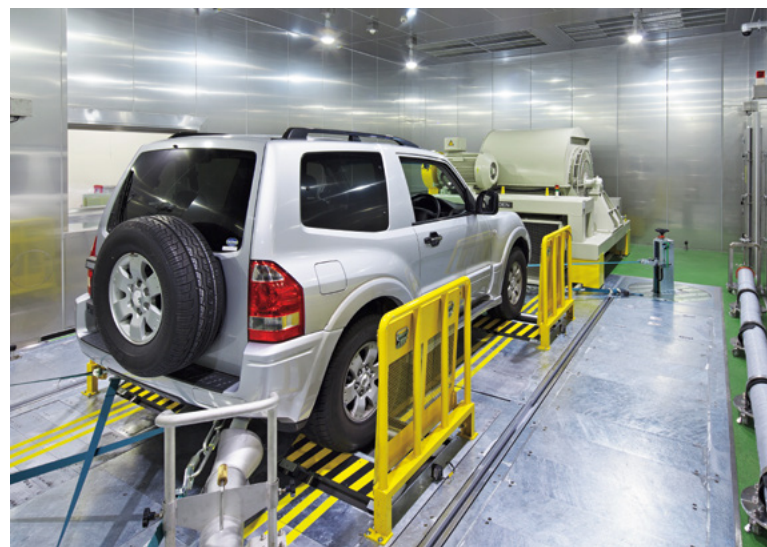
FAMS-R5
Flexible Automatic Measuring System-Release5



計測制御部



車両拘束装置

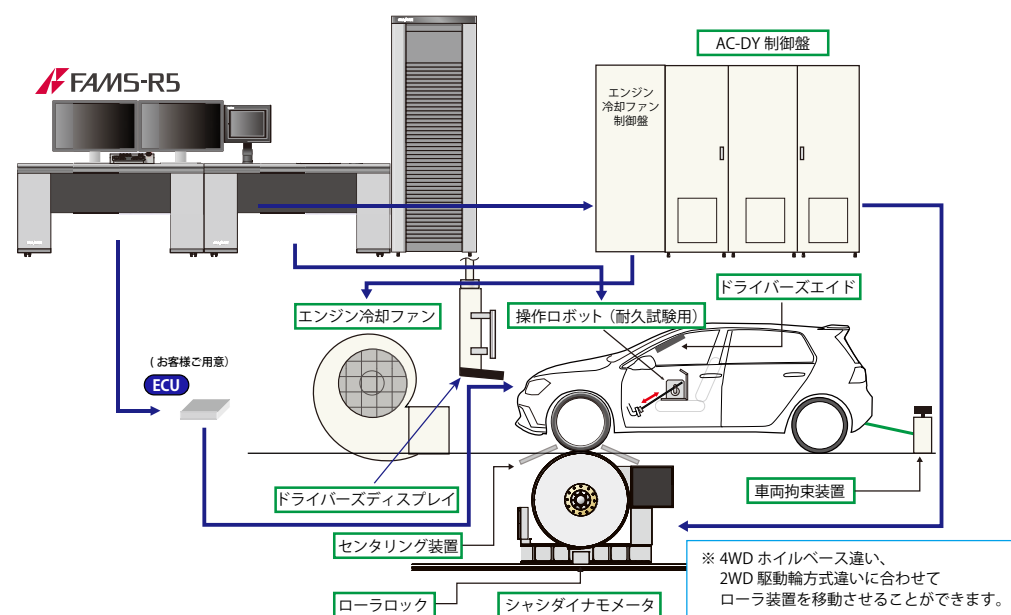


エンジン冷却ファン



センタリング装置

- 世界標準のφ48 inch ローラ間に動力計を配置した省スペース方式
- 排出ガス試験、耐久試験、性能試験、環境試験において多様な車両（2WD、4WD、EV、HEV）対応
- FAMS-R5システムを採用（CFR-1066、GTR-15準拠）
- 繰り返し再現性に優れ、作業性の高い車両拘束方式により試験結果の再現性向上
- 試験に必要なコンポーネントを装備
 - ー 車両拘束装置・エンジン冷却ファン・センタリング装置・ローラロック装置・ドライバーズディスプレイ
- 試験に必要なアプリケーションを装備
 - ー 走行抵抗設定ソフト・ドライバーズエイド
- CFR1066評価・JASOE014評価・SAEJ2951評価に必要なアプリケーションを新規開発

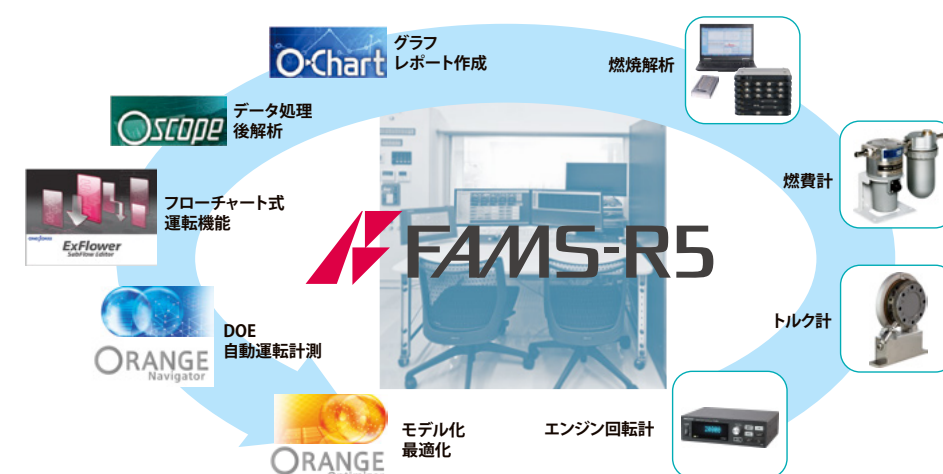


特長

機器連携と機能拡張性を兼ね備えた計測制御部

▶ 小野測器プラットフォーム:
FAMS-R5を4輪車用シャシ
ダイナモメータ計測制御部に
展開し、機器連携を強化

- ECU同期計測や自動シーケンス計測、ドライバーのモデル化、計測チャンネル拡大、燃焼解析装置との接続による高度解析が可能
- 他試験機で開発したFAMS-R5のアプリケーションの共有化が可能
- RDE規制に関連した開発、検証に効率良く対応可能なインタフェースの構築が可能



使い易く高機能な走行抵抗設定

▶ 従来の操作性をそのままに、
新たな機能を強化

- 慣性質量自動切換機能
- 自動フリクション補償機能
- 1操作で、簡単に設定が可能
(慣性質量設定→暖機→走行抵抗設定→判定まで)
- 惰行試験の、結果と設定を自動保存
- 手間のかかるロス計測を、自動実行で簡単に実現
- 試験画面内容をMicrosoft® Excel®へテキスト出力
- ExFlowとの連携による自動シーケンス機能



信頼性と履歴情報を強化したドライバーズエイド

▶ 試験車両の規定モード運転において、
目標とする速度パターンや変速タイミングを
表示し、ドライバーの運転操作を支援

- 各国の代表モードを標準添付
任意にモードを作成可能
- 走行した運転パターン、公差幅、走行軌跡、
逸脱時間を自動保存
- 走行逸脱許容範囲からの最大逸脱時間、直近逸脱時間、
逸脱積算時間、逸脱回数を運転ステータス画面に表示
- 運転中に設定された逸脱許容値を超えた場合には
画面メッセージにより通知
- エラー履歴を自動でファイル化して、簡単に管理
- 距離ベースの運転や、勾配指令や温度指令の設定が可能

